

セルフケア・セルフメディケーションに関する研修プログラム
(令和7年度厚生労働省事業)

【受講対象】

すべての薬剤師（薬剤師の職能として、地域住民の健康な生活の確保・向上に寄与し、セルフケア・セルフメディケーションを支えるため、すべての薬剤師に向けて受講いただきたい内容）

項番	コンテンツタイトル	前/後編	項目	目標	講師
1	薬剤師の倫理・基本姿勢 ー現場で使える実践知と判断軸ー	【前編】 [講義時間] 14:45	イントロダクション	○セルフケア・セルフメディケーションに対する薬剤師の倫理・基本姿勢の習得	日本薬剤師会 一般用医薬品等委員会 委員長 堀川 壽代
		【後編】 [講義時間] 38:01	7つの基本姿勢 1.常に需要者の視点に立ち、最善をつくす 2.専門家として 判断・責任 3.説明責任から逃げない 4.記録は“未来の自分と同僚への手紙” 5.公平さ・誠実さを貫く 6.最新知識のアップデートを“習慣”に 7.地域／多職種チームの“要”となる自覚を持つ		
		まとめ			
2	相談対応・提案や受診勧奨の資質向上 ～薬剤師による臨床判断～	【前編】 [講義時間] 40:34	CHAPTER 01 薬局は「地域に開かれた相談の場」になれるか	○需要者のOTC医薬品の使用にかかるニーズへの相談対応・提案や受診勧奨が適切に行えるための資質の向上	日本薬剤師会 一般用医薬品等委員会 委員 田村 憲胤
		CHAPTER 02 薬剤師による臨床判断・情報収集・受診勧奨			
		【後編】 [講義時間] 46:16	CHAPTER 03 実践例で学ぶ： 薬剤師臨床判断・トリアージ		
		CHAPTER 04 セルフケア・セルフメディケーション推進に向けて 「地域医療への貢献」の考え方			
		CHAPTER 05 相談される薬局となるために			
CHAPTER 06 まとめ					

※講師の所属・役職等は収録時点（2026年3月時点）のものです。